

(1)「カエル！ジャパン」キャンペーン

- ・「憲章」及び「指針」に基づく取組を加速するため、平成20年度をいわば「仕事と生活の調和元年」と位置づけ、個々の取組の支援とそのネットワークの構築を推進するとともに、「憲章」と「指針」を一人でも多くの方に理解していただき、社会全体での取組を推進するための国民運動を一層効果的に推進するため、「カエル！ジャパン」というキーワードの下、シンボルマーク・キャッチフレーズを作成し、「カエル！ジャパン」キャンペーンとして実施。(6月～)
- ・ホームページ、シンポジウム、各種資料において活用することにより、運動全体を統一的に展開
- ・内閣府HPからシンボルマークのダウンロード開始(7/22～)〔別紙1〕
- ・ポスター集中キャンペーンの実施
 - 7月 東京メトロ全駅掲示
 - 9月 全都道府県・政令市に発送
 - 10月 大阪市交通局全駅掲示



(2)政府広報の実施

- 10/ 2～ 政府インターネットTV放映中
- 10/13 スポーツ各紙突き出し広告掲載
- 10/18 「中山秀征のBeautiful Japan」(東京FM他)放送
- 10/31 「キク！みる！」放映予定(フジ)(11/6 関西テレビ)

(3)パパの育休体験記の募集

- ・男性の育児休業取得を後押しするため、育休を取得した男性から体験記を募集。(募集期間：9/2～10/17)〔別紙2〕

(4)内閣府「隼より始める」プロジェクト

- ・内閣府において、業務の効率化のための取組を開始。(9月～)

(5)ハンドブックの作成

- ・企業や地方公共団体などが取組を進める際の参考となる資料として、ハンドブックを作成、配付開始。(10月～)〔別紙3〕

(6)認知度等の調査

- ・仕事と生活の調和に関して、自身の生活についての希望や現実、必要と考える企業や政府の取組などについて意識調査を実施、公表。(8月実施、9月公表)〔別紙4〕

(7)仕事と生活の調和担当者交流会

- ・企業等において仕事と生活の調和を推進する者が一同に会し、各企業等における取組について意見交換。(第1回は10/28)

(8)シンポジウム等の実施

少子化リレーシンポジウム

- 10/10 神奈川県横浜市
- 10/31 島根県松江市
- 11/28 大阪府大阪市
- 1 / 22 大分県大分市
- 2 / 3 愛媛県松山市
- 2 / 6 長野県長野市

少子化対策を考える国際シンポジウム

- 10/ 4 大阪府大阪市

男女共同参画推進連携会議 構成団体との共催事業

- 大学女性協会(10/25、東京都港区)
 - 日本女性科学者の会(12/12、東京都新宿区)
 - 中小企業家同友会全国協議会(2/7、広島県尾道市)
- 〔別紙5〕

地域版男女共同参画推進連携会議との共催事業

- 兵庫県(10/22,11/16,12/1,2/12、神戸市)
 - 京都府(11/25、京都市)
 - 青森県(11/28、青森市)
 - 千葉県(1/15、千葉市)
 - 奈良県(1/26、大和郡山市)
 - 島根県(2月頃、大田市)
- 〔別紙5〕